

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：国際化推進費

事業名 在京大使等県内魅力発信事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光文化スポーツ部 国際交流課 国際連携係 電話番号：058-272-1111(内3972)

E-mail：c11345@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 662 千円 (前年度予算額： 662 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	662	0	0	0	0	0	0	0	662
要求額	662	0	0	0	0	0	0	0	662
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

宮内庁主催により、毎年長良川で行われる外交団招待鵜飼の機会を捉え、平成8年度から本事業を実施してきたが、緊急財政再建期間における事業見直しの結果、平成20年度をもって休止となった。

しかし、事業休止後、在京大使館から再開を希望する声が多く寄せられ、宮内庁、外務省からも対日理解の深化を図る上で有意義な事業であるとの評価とともに、事業再開についての打診を受けた。また、東日本大震災及び福島原発事故後に、駐日米国大使や駐日仏大使が岐阜県を訪問され、岐阜への旅の安全性をPR頂いたことにより、多くの報道等が行われ、改めて在京大使等の影響力の大きさを再認識した。

各国の代表として影響力のある在京大使等が岐阜県のファンとなり、様々な機会において岐阜県の魅力を発信して頂くことは、当県の認知度向上に繋がることが期待できる。

また、本事業は、外交団招待鵜飼とあわせて実施するため、参加する在京大使等の来県費用や宿泊費を当県が負担する必要がなく、最小限の費用で最大の効果が上げられる。

上記のとおり、関係者から高い評価や再開の要請を受けたこと、また、在京大使等の影響力、費用対効果などを総合的に再検討した結果、平成24年度から本事業を再開することとした。

（２）事業内容

○事業目的

外交団招待鵜飼（宮内庁主催）に参加する在京大使等を県内の観光地や主要施設等に案内することにより、本県の魅力や施策・取組などを広く紹介し、本県に対する理解の促進及び各国とのネットワークの構築を図るとともに、海外からの観光客誘致の一助とする。

○事業内容

外交団招待鵜飼の翌日に、県内の観光地や主要施設等を案内するバスツアーを実施する（年２回）。

（３）県負担・補助率の考え方

県内の魅力を発信する事業であるため、県負担は妥当。

（４）類似事業の有無

なし

３ 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	15	事前調査
消耗品費	74	土産代等
対外交流費	132	昼食代等
役務費	11	傷害保険料
使用料	430	バス借上げ代等
合計	662	

決定額の考え方

--

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

外交団招待鶴飼（宮内庁主催）に参加する各国大使等を県内の観光地や主要施設等に案内することにより、本県の魅力や施策・取組などを広く紹介し、本県に対する理解の促進及び各国とのネットワークの構築を図るとともに、海外からの観光誘客の拡大を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
①外国人延べ宿泊客数		193万人	170万人	190万人	200万人	96.5%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、外交団招待鶴飼（宮内庁主催）が中止となったことから、本事業も中止することとなった。
	指標① 目標：70万人 実績：12.2万人 達成率：17.4%
令和5年度	外交団招待鶴飼の開催に合わせ、岐阜県を訪問する外交団に県内の魅力を体感していただくツアーを計2回実施。 第1回：7月27日開催、17の国・地域から25名が参加 第2回：8月24日開催、13の国・地域から19名が参加
	指標① 目標：70万人 実績：109万人 達成率：155.7%
令和6年度	外交団招待鶴飼の開催に合わせ、岐阜県を訪問する外交団に県内の魅力を体感していただくツアーを計2回実施。 第1回：7月26日開催、19の国・地域から23名が参加 第2回：8月22日開催、7の国・地域から9名が参加
	指標① 目標：120万人 実績：193万人 達成率：160.8%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	各国を代表する大使等に岐阜県の魅力を直接PRできる機会は、本事業以外に無く、大変貴重で重要である。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 3	これまでに実施した参加者アンケートの結果から、参加者の満足度は非常に高く、また、海外誘客の拡大に取り組む市町村との連携により、相乗効果が期待できることから、事業効果は高い。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	宮内庁主催の外交団招待鶴飼にあわせて本事業を実施することで、参加する大使等の来県費用や宿泊費を県が負担する必要がなく、最小の費用で最大の効果を上げることができる。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 在京大使等の限られた滞在日程の中で、県がPRしたい観光資源や地場産業等と参加者側のニーズのマッチングを図る必要がある。

(次年度の方角性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 各国を代表する大使等に岐阜県の魅力を直接PRできる機会は、本事業以外にないため、継続すべきである。さらに、本事業を実施することで、外国人が本県に求める観光資源（食、自然、地方の文化など）を把握することができ、海外誘客拡大の一助になると期待される。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	